

令和 4 年 2 月 議 会 定 例 会  
市 長 挨 拶 要 旨

( 令 和 4 年 3 月 23 日 )

新 潟 市



貴重なお時間をいただき、一言ご挨拶を申し上げます。

本定例会においては、2月17日の開会から本日まで、長期間にわたり慎重なご審議をいただき、また、ただいま、令和4年度予算をはじめ各議案について、議決をいただき、誠にありがとうございました。

厚くお礼を申し上げます。

審議を通じて頂戴したご意見などは、大いに参考とさせていただきます、今後の市政運営に役立てていきます。

令和4年度は、総合計画「にいがた未来ビジョン」の最終年度として、都市像の実現に向けた取組みを着実に進めるとともに、ウイズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、「暮らしやすいまち」・「訪れたいまち」・「ビジネスを展開するまち」として国内外から「選ばれる新潟市」となるよう、明るい未来に向かって本市のまちづくりを大きく前進させていきます。

また、来年度は次期総合計画を策定する年でもあります。この度は、市議会として、特別委員会を設置して議論を深めていただけたということで、厚く感謝申し上げます。市議会の皆さまと意見交換を行いながら、共に次期総合計画を策定してまいりたいと思います。

新潟市のまちづくりの方向性として大切にすべきものは二つあります。一つは、今、新潟市に住む人々が安心して心豊かに暮らし続けられるようにすること、もう一つは未来を担う子どもたちや若い世代から新潟市で暮らすことを選んでもらうことです。

人口減少時代にあっても、この素晴らしい新潟市をより良い形で将来世代に引き継いでいくために、将来にわたって活力にあふれ、持続可能な新潟市を築いていくことが重要です。

そのためにも、「都市と田園の調和」という最大の強みを武器にして、市民一丸となって、「心豊かに暮らせる日本海拠点都市」を築いていく、そのような総合計画にしていきたいと考えています。

以上、議員各位の一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。感謝の言葉とさせていただきます。

誠にありがとうございました。